



栃木市の非核平和事業

栃木市では、栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の尊さや平和について考える機会を設けるため、今年も各種啓発事業を実施しました。

とちぎ平和展

7月5日から8月14日までの間、市内の6施設で広島・長崎への原子爆弾投下後の惨状を収めた写真パネルや昨年度の広島平和記念式典中学生派遣活動記録などを展示しました。また、市役所での開催時には丸木美術館所蔵の「原爆の図」の複製画や、戦時中に使用されていた軍服等の現物資料も展示しました。来場者からは「教科書には載っていない事がたくさんあり、勉強になった」「原爆の図の大きさ、迫力に圧倒された」「資料を見て、当時の人々の辛さが伝わってきた」「小学生や中学生、もっとたくさんの方に見て欲しい展示だと思った」等の感想が寄せられました。会場に設置した折り鶴コーナーで折られた鶴は、千羽鶴にし、来年、広島への「原爆の子の像」に奉納する予定です。

戦争体験を聞く会

戦争体験を風化させることなく、後世に伝えていくため、7月28日、市役所正庁において、町田榮子さんと上野和子さんに、8月11日、岩舟健康福祉センター会議室において、関谷啓三さんと湯澤トヨさんに戦時中及び終戦後の体験等を語っていただきました。

大きな被害が出た宇都宮空襲に遭遇し、恐ろしい思いをした話や東京や横浜から親戚が疎開してくる中、物資や食料が乏しく苦勞しながらも大家族を守ったお母さんの話、あまり知られていない栃木市の空襲の話、多くの子どもたちが犠牲となった学童疎開船「対馬丸」に引率教員として乗船していたお母さんの体験談など、実際に体験した方だからこそ語れる戦争の真実に参加



馬丸の悲劇
町田榮子さん 上野和子さん
関谷啓三さん 湯澤トヨさん

者は熱心に耳を傾けていました。

戦争の恐ろしさを体験者の生の声で聞いた参加者からは「あらためて、平和であることのありがたさを感じました」「悲惨な戦争を二度としてはいけないと思いました」「東京大空襲の体験談はよく本や新聞等で見ますが、地方の空襲はなかなか知る機会がないのでとても良かったです」「戦争を体験された方の生の声を聴き、胸のつまる思いでした」等の感想が寄せられました。

広島平和記念式典への中学生派遣

「広島平和記念式典中学生派遣団」として市立中学校から2年生2人ずつ、計28人を広島へ派遣しました。派遣された中学生は原子爆弾の恐ろしさを現地を感じ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学びました。

8月5日 平和記念公園・平和記念資料館の見学

8月6日 平和記念式典参列、宮島見学、元安川灯ろう流し参加

8月7日 「原爆の子の像」への千羽鶴奉納、被爆体験講話学習

平和記念式典参列

8時に平和記念式典が始まり、原爆死没者名簿奉納、代表者による献花の後、原子爆弾が投下された8時15分に、鐘の音とともに黙とうが行われ、平和への祈りをささげました。



献花を行う派遣団員



平和への思いを込めて灯ろうを流しました

派遣団員の活動報告からの抜粋

「式典には日本人だけでなく、外国の方も数多く参加していました。私は、日本だけでなく、世界中に核兵器廃絶の思いが広がっていることに感銘を受け、そして大変心強く思いました。」

「私は、広島で学んだこと、感じたことを、まずは身近な人に伝えたいと思います。そして、将来は世界中の人にも伝え、共に平和を考えていきたいと思えます。」

「広島市長の平和宣言の中に『一人の人間の力は小さく弱くても、一人一人が平和を望むことで、戦争を起こそうとする力を食い止めることができる』という言葉がありました。また、広島市内の子ども代表による平和への誓いの中でも『自分の身の回りを平和にすることは子どもでもできること』という言葉がありました。私は、この二つの言葉から、あらためて一人一人の平和を願う気持ちの大切さを感じました。そして、私たち子どもも、平和な未来を築くために、努力しなければならぬということを感じました。」

被爆体験講話学習

被爆された方から、原爆被害の実態と被爆体験を直接伺いました。(講師：白石多美子さん)

派遣団員の活動報告からの抜粋

「僕たちは講話を通して、たくさんの方のことを学びました。おだやかで楽しいまちを、危険で恐ろしい場所へと変えた、原爆の怖

さや悲惨さ。そして、何より人体の奥深くまで影響を及ぼし、被爆した日から現在も苦しんでいる人がいることが衝撃でした。また、心にも大きな影響をあたえ、人々の自由を奪うのが原爆だと分かりました。「もう二度とこのような残酷なことが起きないように、そして、起きてしまった出来事を絶対忘れないように、たくさんの方々へ伝え、知ってもらおうと思いました。また、あらためて私たちの誓ひを暮らし、人の命の重さ、友だちの大切さを考え直すことができました。そして、私たちは本当に幸せなのだと思えました。」

「原爆の子の像」への千羽鶴奉納

各中学校で心を込めて作製した千羽鶴、とちぎ平和展等で市民の皆さんに作っていただいた折り鶴を、大切に「原爆の子の像」に奉納してきました。

広島平和記念式典中学生派遣報告会

8月29日、派遣団員が、今回の派遣で学んだことや感じたことを市民の皆さんの前で発表しました。今後は各校の学校祭などで発表し、原爆の恐ろしさや平和の尊さを全校生徒に伝えます。

問合せ 総務課 ☎(21)2342



原爆ドームの前にて、派遣団員一同